

# 令和7年度江戸川区カーボンニュートラル取組 支援業務 ～活動の振り返り～

2026年3月19日

## ▶ 目次

- 0 はじめに
- 1 削減シミュレーション（7事業者さま合算）
- 2 皆様にご検討いただいた削減行動の一覧
- 3 エネルギー使用料金の削減（経費節減効果）
- 4 最後に

0

はじめに

# 254.6t

# 0 はじめに

今ここにいる皆様が真剣に2030年度に削減できると  
考えて、積み上げていただいた**CO<sub>2</sub>削減量**です。

# 1

## 削減シミュレーション（7事業者さま合算）

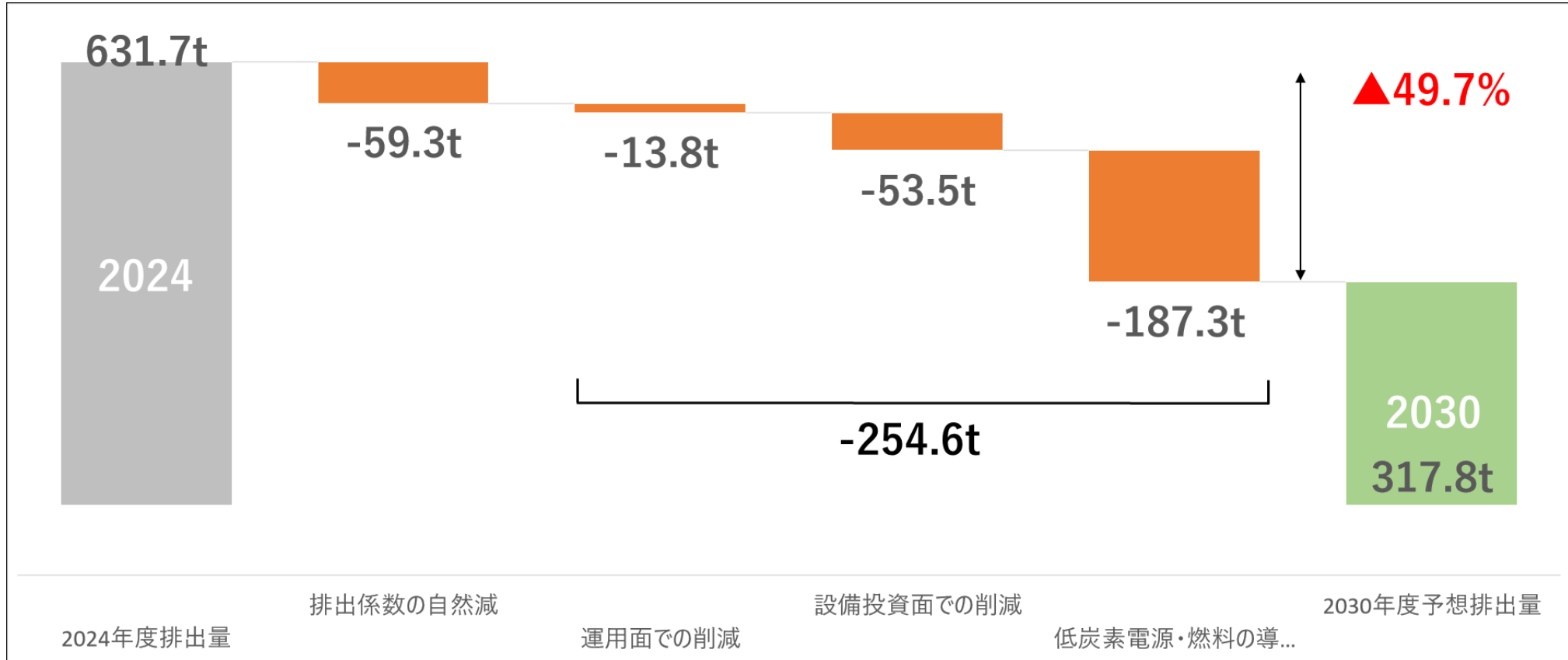
# 1 削減シミュレーション結果（7事業者さま合算）

各事業者さまと協議を行い以下3つの方針をベースに排出量削減に繋がる行動の洗い出しを行いました。

1. 運用面の省エネ対策
2. 設備投資面の省エネ対策
3. 低炭素電源、燃料の導入

上記方針を元に排出量削減に繋がる実現可能性のある削減行動について、7事業者さま全体で見込める削減量は次頁の通りです。

# 1 削減シミュレーション結果（7事業者さま合算）



▲49.7% = 毎年約8.3%の削減（江戸川区目標※：3.4%）

※出典：江戸川区 第6次環境行動計画2023年度～2030年度

# 2

## 皆様にご検討いただいた削減行動の一覧

## 2 皆様にご検討いただいた削減行動の一覧

### 1. 運用面での削減行動

項目	削減量／排出量(t-CO2)
エコドライブの推進	6.24
室外機フィン、室内機フィルターの定期清掃	6.16
冷凍・冷蔵設備の設定温度の適正化 等	1.28
こまめな消灯	0.14
合計	13.82

## 2 皆様にご検討いただいた削減行動の一覧

### 2. 設備投資面の削減行動

項目	削減量／排出量(t-CO <sub>2</sub> )
EV/HVの導入	20.05
太陽光発電設備の導入	14.86
その他設備類の更新	6.04
室外機へ遮熱シートの設置	5.61
LED照明への更新 等	4.39
高効率空調設備導入 等	2.55
合計	53.50

## 2 皆様にご検討いただいた削減行動の一覧

### 3. 低炭素電源、燃料の導入

項目	削減量／排出量(t-CO2)
再エネ電力導入	178.9
排出係数の少ない電力契約への切り替え	5.3
バイオディーゼルの導入	3.1
合計	187.3

# 3

## エネルギー使用料金の削減（経費節減効果）

### 3 エネルギー使用料金の削減（経費節減効果）

温室効果ガスの排出量を削減することが取組趣旨ではありますが、同時に「エネルギー使用量の削減」＝「経費節減」も実現することができます。下表は各事業者さまとシミュレーションした一例です。

項目	想定削減量 (t-CO2)	電力削減量 (kWh)	燃料削減量 (kL)	エネルギー使用量 ／削減金額（円）
エコドライブの推進	6.2		2.52	422,632
出入り口のビニールカーテン設置	5.6	12,899		376,030
LED照明の導入	3.2	7,465		235,632
室外機フィン、室内機フィルターの定期清掃	2.8	3,747		188,015
室外機へ遮熱シートの設置	2.8	3,747		188,015

※上表には設備投資に関する支出情報は含まれません。また電力単価・燃料単価は各事業者さまごとに異なり、同じエネルギー量を削減した場合でも削減金額が異なります。

# 4

最後に

4

最後に

254.6t

## 4 最後に

ガソリンに換算すると

**111,195L**を車両で使用した排出量。

燃費15.0km/Lの車で**地球41.6周分**に相当。

## 4 最後に

電力に換算すると

**601,978kWh**の使用分。

一般家庭の年間消費量にして**152軒分**に相当。

※一般家庭の年間電力消費量：3,950kWhの前提

## 4 最後に

これは本当に素晴らしいことだと思いますし、  
皆様がご一緒に真剣に考えていただいた

**削減行動**は脱炭素を進めるための基本であり、

自信をもって宣言いただける取り組みです。

## 4 最後に

脱炭素経営は、単なる環境対応ではなく、  
**自社の企業価値と未来を考える** 取組みです。

直ぐに売上や利益に必ずしも直結しない取組みもあるかもしれませんが、それでも続けることで

- ・ 省エネによるコスト削減
- ・ 取引先や金融機関からの評価向上
- ・ 採用や人材定着へのプラス効果
- ・ 「環境に配慮する会社」としてのブランド力向上

といった成果が出てくる可能性が高まります。

## 4 最後に

皆様の取り組みが区内の他の事業者さまに伝わり、

**脱炭素の輪**がより一層

大きく広がることを心より願っています。

## 4 最後に

ありがとうございました。

**MS & ADインターリスク総研株式会社**

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-105

ワテラスアネックス

リスクマネジメント第一部 リスクエンジニアリング第四グループ

Phone: 03-5296-8917